



地球環境を汚さないために

法令遵守の徹底とお客様のご要望への対応をめざし、
環境負荷物質の適切な管理を進めています。

製品の化学物質管理

化学物質関連法規と顧客要求への対応

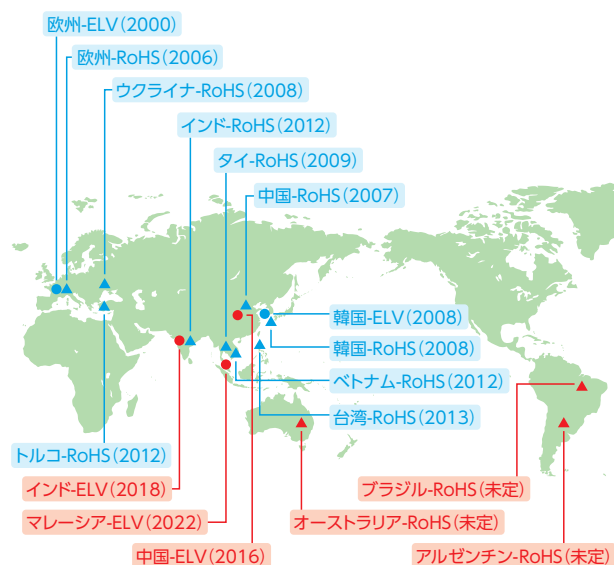
矢崎グループでは、各国で施行されている化学物質関連法規の確実な遵守と、お客様の化学物質管理に関するご要望への対応を目的として、グローバルで仕組みを構築し、運用しています。

各国法規については、改訂・施行の情報収集に加え、今後規制されることが見込まれる化学物質に対して、迅速な対応ができるよう事前準備を進めています。また、お客様の化学物質管理のご要望については、関係部門と情報の共有を行っています。

2014年度は、2013年度から引き続きの活動として、施行が予定されている各国ELV規制への体制強化と、各国の新規化学物質届出規制の管理体制の構築を行いました。また、新たな活動として、欧州ELV指令の改訂動向に基づく対象部品の抽出と、対応における課題の整理を行いました。

世界各地域における化学物質関連法規

- ELV指令 施行済み ▲ RoHS指令 施行済み
- ELV指令 施行予定 ▲ RoHS指令 施行予定



()内は公布年、または公布予定年

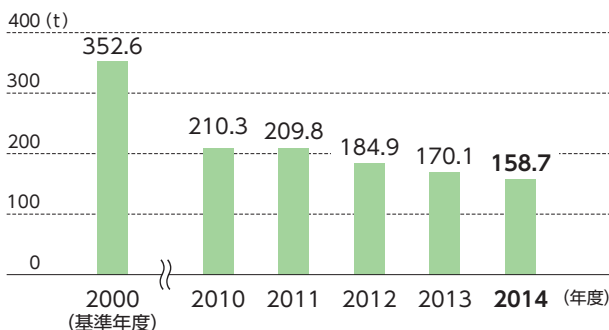
事業所における化学物質管理

VOC排出量の削減

国内矢崎グループでは、大気汚染の原因となる浮遊粒子状物質や光化学オキシダントを生成する揮発性有機化合物 (VOC) について、所属する業界団体が自主的に定めた目標を達成するため、工程改善・設計変更などによりVOC排出量の削減に取り組んでいます。

2014年度は、島田製作所 (静岡県島田市) においてVOCを使用しない製品への切替えのほか、天竜工場 (静岡県浜松市) ではVOC含有塗料の塗装範囲や吹付量を見直しました。これらの活動の結果、国内矢崎グループ全体のVOC排出量は158.7トンとなり、2000年度比55.0%減となりました。

VOC排出量の推移



TOPICS

海外事業所における化学物質管理の強化

世界各国で製品中の化学物質に関する規制が強化されています。そこで2014年度は、海外事業所での化学物質管理の強化を目的として中国とインドネシアのすべての生産事業所において、化学物質管理の責任者および担当者に対し、環境負荷物質の管理体制とXRF (蛍光X線分析) を用いた測定方法などに関する教育を行いました。この教育を中国では70名、インドネシアでは30名が受講しました。今後も継続的な教育を行い、化学物質管理の強化に努めます。



XRF教育受講の様子